

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330421107	図画工作研究A Research of Arts and Crafts A	松井素子			2	必修	2前期

科目の概要

小学校での授業実践を想定し、学習指導案の作成や模擬授業について学修する。基本的な指導案のフレームワークを理解した上で、模擬授業のための授業構想を考察する。それをもとに指導案を作成して模擬授業を行うことで、授業計画に対する検証をするとともに、教育現場での実践力を身につける（DP②）。

学修内容	到達目標
① 子どもの描画に関する発達段階を理解する ② 学習指導案の書き方を理解する ③ 低学年～高学年までの学年を設定し、模擬授業をチームティーチング形式で実施する ④ 自身や他者の模擬授業から抽出した課題を解決する ⑤ 作品作りや作品の保管にICTの活用を行う	① 子どもの描画に関する発達段階を理解し、知識を獲得することができる ② 小学校教科書の造形表現から指導方法を活用し、適切な学習指導案を作成できる ③ 実践を意識した模擬授業をとおして授業実践力を養い、評価評定について正確な見解を持つことができる ④ 自身や他者の模擬授業を通して抽出された課題を解決するために、さかのぼって模擬授業を展開できる ⑤ 作品作りや作品の保管に関して、積極的にICTの活用を行うことができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	子どもの発達を理解した上で、模擬授業において主導的な指導ができる。
	働きかけ力	
	実行力	模擬授業の準備を怠ることなく、万全の用意をすることができる。
考え抜く力	課題発見力	模擬授業の反省点を、教員の指摘と合わせて、自身の振り返りによって発見することができる。
	計画力	
	創造力	模擬授業の課題選定において、子どもの視点に立った独特の課題テーマを考え創出できる。
チームで働く力	発信力	模擬授業の導入部分において、スムーズな導入のための工夫ができる。
	傾聴力	模擬授業後の総括において、改善点を意識しながら聞くことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	自己判断で行動せず、授業内の規定を守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

使用するテキスト及び参考文献は、授業中に資料として配布する。

他科目との関連、資格との関連

「図画工作研究A」は、学科専門科目群の小学校領域の中の「教科及び教科の指導法に関連する科目」に配置されており、小学校教育という点で各教科の科目に関連している。図画工作の教科の指導法としては「図画工作教育法」に関連し、次に履修する「図画工作研究B」の補完的科目である。また、小学校教諭1種の資格必修科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
小学生は6学年あり、かつ児童の様子は多彩であるため、発達段階の理解をしっかりとしておく必要がある。また図画工作は「楽しい」という雰囲気作りが重要であり、作品制作の過程が何より大切である。刃物を扱う工作の場合、安全指導を踏まえた指導案を作成する必要がある。	自分自身の小学生時代を振り返り、図画工作の授業がどのようなものであったかを思い出しながら、児童の発達を理解した授業を考えて欲しい。また、謙虚な姿勢での指導と情熱を持った授業とのバランスを気に留めておいて欲しい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		30	①		学習指導案作成のクオリティ20点 授業チェックシートによる課題発見の正確性10点
					②	✓	
					③	✓	
					④		
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		60	①	✓	模擬授業における、しっかりとした準備、教師らしい態度、指導力、細やかな観察、授業構成など、総合的に評価する。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）他者の模擬授業と講評から吸収しようとすることができる。 （実行力）課題解決に向けて積極的に臨むことができる。 （課題発見力）講評の中から自分の課題を見つけることができる。 （創造力）模擬授業の構成に対して自分なりの工夫を模索できる。 （発信力）チェックシートの記載について、課題を見つけることができる。 （傾聴力）講評の分析内容を理解しながら聞くことができる。 （規律性）授業の進行に協力することができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤				
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・児童を完全に引き付けるような授業を考え、工夫しながら熱意のある授業を実践することができた。 ・チームティーチングの意義を理解し、協力しあって授業展開をすることができた。 ・リアクションペーパーにおいて、自己を深く見つめ、実践した授業に対する課題を発見でき、今後の授業に対する姿勢を明確に示すことができた。 <p>※上記のレベルに到達した場合はA（優）評価とし、さらにそれを上回る場合は、レベルS（秀）評価とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童を引き付けるような授業を考え、積極的な姿勢で模擬授業を実践することができた。 ・リアクションペーパーにおいて、実践された模擬授業の反省点を見つけ出し、今後の自分の模擬授業への活かし方を示した。 <p>※これらの評価を得られた場合はB（良）とし、消極的な態度や、リアクションペーパーの記述が的確でない場合はレベルC（可）評価とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	児童画の発達段階を理解する。	講義	児童画の発達段階を理解できた。 (振り返りシートの提出)	(予習) 0～10歳児の発達についてまとめておく (復習) 講義内容を振り返り、発達段階の違いを理解する	180	主体性 傾聴力 規律性
2	学習指導案作成について理解する。 インターネットを用いて指導案についての知見を広げる。	講義 演習	学習指導案の作成ができる。 (指導案の提出)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) 自分で起案した指導案を作成する。	180	主体性 傾聴力 規律性
3	模擬授業(低学年) 1 低学年の設定で、自分で題材を決めてチームティーチングによる模擬授業を行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて)	(予習) 検定教科書の低学年の題材を調べる。授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	模擬授業(低学年) 2 低学年の設定で、自分で題材を決めてチームティーチングによる模擬授業を行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	模擬授業(低学年) 3 低学年の設定で、自分で題材を決めてチームティーチングにて模擬授業を行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	模擬授業(低学年) 4 低学年の設定で、自分で題材を決めてチームティーチングにて模擬授業を行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	模擬授業(中学年) 1 中学年の設定で、自分で題材を決めてチームティーチングにて模擬授業を行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	模擬授業(中学年) 2 中学年の設定で、自分で題材を決めてチームティーチングにて模擬授業を行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	模擬授業(中学年) 3 中学年の設定で、自分で題材を決めてチームティーチングにて模擬授業を行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	模擬授業(中学年) 4 中学年の設定で、自分で題材を決めてチームティーチングにて模擬授業を行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	模擬授業(高学年) 1 高学年の設定で、自分で題材を決めてチームティーチングにて模擬授業を行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12	模擬授業(高学年) 2 高学年の設定で、自分で題材を決めてチームティーチングにて模擬授業を行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	模擬授業(高学年) 3 高学年の設定で、自分で題材を決めてチームティーチングにて模擬授業を行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	模擬授業(高学年) 4 高学年の設定で、自分で題材を決めてチームティーチングにて模擬授業を行う。	演習 グループワーク 発表	指導案を作成し、時間内で授業を行うことができた。 (指導案と授業評価シートにて)	(予習) 授業準備・指導案作成。 (復習) リアクションペーパーの作成と提出。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	総括・まとめ 模擬授業で得た技能や考えについて、1～6年までの総合的な美術科の授業についてのレポートを作成する。	演習	全学年を通した振り返りができ、まとめのレポートを書くことができた。	(予習) 全授業を通した振り返りをまとめる。 (復習) 1～6年までの各学年の留意点をレポートにしてまとめる。	180	課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力